

令和元年度第1回江別市学校給食会理事会議事録

日 時	令和元年7月19日（金）15時00分～15時52分
場 所	江別市立学校給食センター 研修会議室
出席理事	中村理事長、萬副理事長、中村（和）理事、波津理事、松下理事、伊藤（祥）理事、渡辺理事、遠藤（光）理事、遠藤（絵）理事（9名） ※遠藤（絵）15：35～出席
欠席理事	伊藤（篤）理事、鈴木理事（2名）
事務局	鈴木事務局長、森山事務局次長、佐藤事務局員、木村事務局員、吉田事務局員（5名）
関係部局	伊藤教育部次長
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 役員（理事長・監事）の選出 3. 委嘱状の交付 4. 理事長、副理事長挨拶 5. 理事自己紹介 6. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算について 報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算について 会計監査報告 7. その他 8. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 江別市学校給食会理事名簿 《報告事項資料》 ・ 平成30年度江別市学校給食会計決算書 ・ 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算書 ・ 監査報告書 《議案資料》 ・ 令和元年度江別市学校給食会事業計画 <ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度学校給食費について ◆平成26年度（2014年度）～令和元年度（2019年度）給食費年度別推移 ・ 令和元年度江別市学校給食会計予算書 ・ 令和元年度江別市学校給食会運営事務会計予算書 ・ 給食センターだより（令和元年臨時号）

▼会議内容

【開会】

○事務局長（鈴木センター長）：

皆さま、こんにちは。

定刻になりましたので、令和元年度 第1回 江別市学校給食会理事会を始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、当理事会にお集まりいただきましてありがとうございます。

また、この度は、各機関・団体からの推薦により、給食会理事をお引き受けいただきましたことに対し、お礼を申し上げます。

私は江別市学校給食会の事務局長を務めております、給食センター長の鈴木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

江別市学校給食会は、理事11名をもって組織されており、市立小・中学校における学校給食事業の円滑な運営を図ることを目的としております。

今年度は、理事の改選期に当たっており、再任の理事が3名、新任の理事が8名となっております。本日の議事につきましては、報告事項が、平成30年度江別市学校給食会計ほか2会計の決算について、及び会計監査報告となっておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

なお、学校給食会理事会は、会則第9条第2項において、理事の過半数の出席を以て成立することとなっておりますが、現時点で、11名のうち8名の出席がありますので、理事会が成立しておりますことをご報告いたします。（1名遅れて出席）

それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

【役員（監事）の選出】

先ほど申しあげましたように、今回は理事の改選期ということで、まず役員を選出をお願いいたします。役員は、給食会会則第5条によりまして、理事長1名、監事2名を理事の互選で選出することとなっております。副理事長1名は、教育部長を充てるとされておりますので、教育部長である萬直樹理事に就任していただきます。

理事長ですが、どなたかご提案はございますか。

なければ、事務局案としまして、中村一治理事に引き続きお願いしたいと思いますが、理事の皆さんいかがでしょうか。

（異議なし）

それでは、中村一治理事に理事長をお願いいたします。

（拍手）

次に監事ですが、事務局案としまして、江別消費者協会から選出された伊藤祥子（さちこ）理事と江別市PTA連合会から選出された伊藤篤志（あつし）理事をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

賛同いただけましたら、拍手をお願いいたします。

（拍手）

それでは伊藤祥子理事、伊藤篤志理事に監事をお願いいたします。

恐れ入りますが、中村理事長は理事長席に、萬副理事長は副理事長席にお移りください。

【委嘱状の交付】

それでは、これより、中村理事長から委嘱状を交付していただきます。

萬理事 ⇒ 中村（和）理事 ⇒ 波津理事 ⇒ 松下理事 ⇒ 伊藤（祥）理事 ⇒ 渡辺理事 ⇒ 遠藤（光）理事の順に、中村理事長が席の前で交付する、という形を取らせていただきますので、中村理事長、よろしくお願ひいたします。

なお本日、所用で欠席の遠藤（絵）理事、伊藤（篤）理事、鈴木理事におかれましては、後日、本人へ交付いたします。

【理事長、副理事長挨拶】

それでは、中村理事長と萬副理事長からひと言ずつ、ご挨拶を頂戴したいと思います。

（中村理事長）

皆さんこんにちは。先程理事長に選出されました中村です。よろしくお願いいたします。

子どもたちに安全・安心な給食をどう提供していくかという体制をこの会で決めていくということになりますので、皆さんのご意見をたくさんいただき、良い給食会にしていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

（萬副理事長）

皆さんこんにちは。会則の規定に従いまして副理事長に選出されました教育部長の萬直樹と申します。学校給食の会計は5億円を超える大きな会計でございます。また学校給食事業は8,000食を超える給食を毎日提供し、非常に衛生管理に気を配らなければならない大切な事業だと思っております。

そういう給食の運営に皆さんの協力を得ながら、しっかり給食会の務めを果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（鈴木事務局長）

中村理事長、萬副理事長ありがとうございました。

続きまして、新任の理事の方もいますので、中村理事から反時計回りの順で自己紹介をお願いします。

中村（和）理事（東野幌小学校長） ⇒ 波津理事（いずみ野小学校長） ⇒ 松下理事（市 P 連会長・江陽中学校 PTA 会長） ⇒ 伊藤（祥）理事（江別消費者協会） ⇒ 渡辺理事（文京台小学校教頭） ⇒ 遠藤（光）理事（東野幌小学校教頭） [各自、所属と職名を添えて自己紹介をした]

（鈴木事務局長）

どうもありがとうございました。

それでは、まず、事前にお配りした資料の確認をさせていただきます。

本日使用する資料は、

- ・ 次第
- ・ 学校給食会理事名簿
- ・ 表紙に「報告事項資料」と書かれた資料
- ・ 平成30年度江別市学校給食会計等決算監査報告書

また、平成31年3月26日に開催いたしました平成30年度第2回学校給食会理事会で承認されました「令和元年度江別市学校給食会事業計画等の資料」並びに「給食センターだより令和元年度臨時号」を参考資料としてお配りしております。

不足等はありませんでしょうか。

これ以降の議事の進行につきましては、中村理事長、よろしくお願いいたします。

【議事】（中村理事長）

それでは議事に入ります。

報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算についてと

報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算について事務局より一括説明願います。

1. 報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算について

（鈴木事務局長）

私から、報告事項について、ご説明いたします。

初めての理事の方もいらっしゃいますので、「学校給食会計」と「学校給食会運営事務会計」の二つの会計の違いについてご説明いたします。

学校給食会計は、前年度の繰越金や児童生徒などの給食費、さらに過年度分の給食費などを収入とし、給食の食材の購入費と消費税を支出しています。

また、学校給食会運営事務会計は、江別市からの補助金を収入として、学校給食会職員の給料・賃金、購入した食材費を支払う際の振込手数料、未納者への連絡に使う通信費、給食費徴収業務に使用する車の燃料費などを支出しています。学校給食法により、学校設置者が学校給食の運営にかかる経費を負担することになっていることから、収入の全額が江別市からの補助金となっています。

報告事項第1号と第2号は、「学校給食会計」「学校給食会運営事務会計」の二つの会計の決算報告であり、3月の理事会において見込額として報告したのですが、決算数値が確定いたしましたので、説明させていただきます。

それでは「報告事項第1号、平成30年度江別市学校給食会計決算について」ご説明いたします。

「報告事項資料 平成30年度江別市学校給食会計、江別市学校給食会運営事務会計決算資料」の1ページ「平成30年度江別市学校給食会計決算書（収入）」をご覧ください。

前年度からの「繰越金」は、589万3,485円です。

「児童給食費収入」は、予算現額3億239万1,000円に対して、収入済額は、3億689万1,219円となり、450万219円の増となります。

収入済額が増加した理由としては、収納率が当初の見込みを0.2%上回ったこと及び転入等による児童の増加に伴う食数の増加によるものと考えられます。

次に「生徒給食費収入」は、予算現額1億8,834万8,000円に対して収入済額は1億8,739万3,886円となり、95万4,114円の減となりました。

収入済額が減少した理由としては、収納率が当初の見込みを0.25%下回ったことによるものと考えられます。

なお、それぞれの収納率につきましては、2ページでご説明いたします。

「職員給食費」「父母試食費」は、ご覧のとおりとなっております。

前年度以前の未収金の徴収による「過年度収入」は、予算額527万9,000円に対して、収入済額728万120円となり、200万1,120円の増となりました。

昨年度の過年度収入は、444万3,108円でしたので、今年度は、283万7,012円増加しています。なお、過年度収入の内訳につきましては、3ページでご説明いたします。

雑入は、廃食油を売った収入で、30,240円でした。

学校給食会計の収入済額合計は、5億1,190万8,291円となり、当初予算額に比較すると、759万4,291円の増となりました。

次に、2ページの資料1「平成30年度江別市学校給食会計決算書（現年度分・収入）」をご覧ください。

「児童給食費収入」は、調定額3億1,140万2,104円に対し、収入済額は、3億689万1,219円となり、収納率は98.55%。

「生徒給食費収入」は、調定額1億9,111万5,007円に対し、収入済額は、1億8,739万3,886円で、収納率は98.05%となりました。

なお前年、平成29年度の児童給食費の収納率は98.55%、生徒給食費の収納率は97.90%でしたので、児童給食費は昨年度と同率、生徒給食費は、昨年度よりも0.15%の上昇となりました。

「職員給食費」、「父母試食費」につきましては、ご覧のとおりとなっております。

給食収入現年度分の調定額の合計は、5億693万6,452円、収入済額は、4億9,870万4,446円、収納率は98.38%となりました。

なお前年、平成29年度の収納率は98.31%でしたので、前年度より0.07%上昇しております。

次に、3ページの資料2、「過年度分給食費年度別納入状況調書」をご覧ください。

平成18年度から平成29年度までの過去12年間の各年度の未納給食費の調定額の合計、4,369万8,943円に対し、収入済額が728万120円となり、収納率は、16.66%です。平成28年度が11.27%でしたので、前年度より5.39%増加しております。

なお、未納世帯数は延べ616世帯ですが、複数年度にまたがって未納となっている世帯がありますので、実世帯数は219世帯となっております。

次に、4ページの「平成30年度江別市学校給食会計決算書（支出）」をご覧ください。

こちらは江別市学校給食会計の支出の決算になります。

米飯・パン・麺などの「主食費」の支出済額は、1億4,251万6,777円で、予算額に比べて67万1,223円の減となっております。

次に、野菜、肉や魚、調味料等「副食費」の支出済額は2億7,948万8,030円で、予算額に比べて、123万9,970円の減となりました。

主食費が減となった要因としては、メロンパンなどの単価の高い加工パンの提供回数を減らしたことによるもの。副食費は、デザートを提供回数を減らしたことが主要な要因であります。

「牛乳費」の支出済額は7,783万1,758円で、予算額に比べて20万8,242円の減となっております。

「代替品費」は、集団風邪の発生等により給食を停止できた場合に、カステラ等の代替品を提供したのですが、平成30年度の支出額は45万5,787円で、予算額に比べて65万4,213円の減となりました。

「公課費」は、消費税ですが、ご覧のとおりとなっております。

学校給食会計の支出済額合計は、5億153万1,152円となり、予算額に比べて、278万2,848円の減となりました。

表の欄外、下部分に記載しておりますが、先ほどご説明いたしました1ページの収入済額の合計5億1,190万8,291円から、支出済額5億153万1,152円を差し引いた1,037万7,139円が、令和元年度への繰越金となります。

2. 報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算について

次に、「報告事項第2号、平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算について」ご説明いたします。5ページの上段「平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（収入）」をご覧ください。

「江別市からの補助金」ですが、当初予算額2億99万3,000円と同額が収入済となりました。

次に、5ページの下段「平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（支出）」をご覧ください。

「報酬」は、理事会及び監査に出席していただいた理事長・理事・監事への報酬であり、理事会と監査をそれぞれ2回開催いたしました。当初予算額19万8,000円から職員手当に流用した2,418円、賃金へ流用した1万1,782円を引いた18万3,800円が予算現額となり、11万200円を支出しています。

「給料」は、給食会職員の給与です。事務職員2名、徴収担当員1名の計3名分となっております。

「職員手当」は、給食会職員の時間外手当と通勤手当になります。不足が生じたため、報酬から2,418円を流用した37万6,418円が予算現額と支出済額となりました。

「共済費」は、職員3名と臨時職員1名の健康保険料・厚生年金保険料などの社会保険料の事業主負担分の支出です。

「賃金」は、臨時職員1名へ支払われるものです。不足が生じたため、報酬から1万1,782円を流用した105万8,782円が予算現額と支出済額となりました。

「需用費」は、印刷製本費及び事務用消耗品等の購入費です。不足が生じたため、委託料から17万2,186円を流用した45万186円が予算現額と支出済額となります。

「燃料費」は、給食費の徴収担当職員が使用する車両の燃料費です。不足が生じたため、委託料より1万5,330円を流用した9万1,330円が予算現額と支出済額となります。

「被服費」は、職員の徴収事務職員の上着等の購入によるものです。不足が生じたため、委託料より3万1,100円を流用した3万5,100円が予算現額と支出済額となります。

「役務費」は、給食費の口座振替収納事務手数料や郵便料金などの支出です。

「委託料」は、給食費の徴収や収納に関する電算管理業務の委託料です。先にご説明しました、需用費に流用した17万2,186円、燃料費に流用した1万5,330円、被服費に流用した3万1,100円を引いた880万6,384円が予算現額となり、864万円を支出しています。

「賃借料」は、徴収担当職員が使用する車両の借り上げ料です。

「備品購入費」は、パソコン2台の購入費です。

「負担金及び交付金」は、北海道社会保険協会への負担金です。

以上、「報酬」から「負担金補助及び交付金」までの給食会運営事務会計支出済額の合計は、2,065万2,028円となります。収入額2,099万3,000円との差額34万972円は、江別市へ一括返納しております。

以上で報告事項の説明を終わります。

(中村理事長)

今、事務局から報告事項の説明がありました。質疑につきましては、監査報告のあとにお願いします。

それでは、事務局から会計監査報告願いたします。

【監査報告】

(森山事務局次長)

事務局次長の森山と申します。

今回、監事が2名とも改選となりましたため、事務局より報告させていただきます。

お手元の「平成30年度江別市学校給食会計等決算監査報告書」をご覧ください。

令和元年6月19日、江別市立学校給食センターにて行いました、監査の結果を報告いたします。

平成30年度、「学校給食会計」、「学校給食会運営事務会計」おのこの収支状況および決算につきまして、松下章子監事、長谷川伸監事の2名で、諸帳簿、および証書類をそれぞれ照合するとともに、現金残高の点検を行なった結果、証書類と現金の収支は適正であり、出納残高も一致し、正確であることをご確認いただきました。

また、江別市学校給食会が行っている、学校給食費の決定および徴収、ならびに給食物資の調達と支払いについては、会則等の規定に従い、適切に処理されていることをご確認いただきました。

以上です。

(中村理事長)

事務局から監査報告がありました。先の報告事項第1号及び第2号と合わせて質疑を受けたいと思います。何かありませんか。

数字が多く、理解が難しいところもあるかと思いますがいかがですか。

(萬副理事長)

過年度の収納率が大きく上がっている状況が見受けられますが、何か新たに取り組んだものがあるのでしょうか。

(中村理事長)

事務局から説明をお願いします。

(森山事務局次長)

説明させていただきます。

過去4年間と比べて数%上がっております。平成30年度に新任の徴収事務職員を採用しまして、前任と代わったタイミングで一部変更をしたということもありますが、基本的には以前からやってきた活動を強化したということになります。

例えば、一括で支払うことが難しいために分割納入の申し入れがあり、毎月1万円ずつ支払うという約束をさせていただいた方について、初めの3カ月は順調に支払われていたが4カ月目に止まってしまった場合は電話をかけ、納入者の状況を確認して、次の支払いを促すといったことをしています。

その他、催促活動はいろいろやっておりますが、これら活動の詳細はこれまで紙台帳でしか見ることができませんでしたが、平成29年に未納者情報をエクセルファイルにより管理するようにし、複数の事務局員が同時に確認できるようにいたしました。未納世帯の中には半年、1年くらい接触でき

ていなかったケースもあり、そのようなことが無いように月に1回は連絡を取る、訪問をするなどの対応を改めて強化しています。

(中村理事長)

事務局の大変な努力があることがわかりました。

その他に皆さんから何かありませんか。

少し上がるだけで相当な額が入ってくるんですね。零点、数%で百万円単位なんですね。

その他、事務局から追加説明はありますか。

(森山事務局次長)

過年度の収入額についてはご説明したとおりですが、ここ数年400万円台、500万円台が続いておりました。この728万円というのは、平成22年度以来の大きな収入で、収支に大きなプラスになったことを追加させていただきます。

(萬副理事長)

平成30年度に大きな災害・地震があり給食センターが稼働できなくご苦労があったのではないのでしょうか。先程代替品の話もありましたが、その辺の一連の対応を簡単に説明いただければ理解が深まるのではないのでしょうか。

(森山事務局次長)

平成30年の9月には台風に続き地震がありました。地震については、当日提供する食材を冷蔵庫に保管していましたが、停電により冷蔵庫がストップしたため、当日出勤した職員によりすべて廃棄いたしました。

また物流が不安定になり食材がそろわなかったため、地震発生当日から5日間、給食の提供ができませんでした。物流が安定し、食材が揃って給食の提供を再開できたのが9月13日でした。子どもたちに対してたいへんご迷惑をかけてしまいました。

(鈴木事務局)

追加でよろしいですか。

給食が提供できなかったことについては、当初は代替品の提供を考えておりましたが、学校が当初冬休みの予定であった12月26日、27日の二日間に授業を行うということになりましたので、その二日間、給食を提供するという形を取らせていただきました。食材は事前に契約して購入する形になっており、納品を止められた分の食材費等で二日間の給食に対応させていただきました。

(中村理事長)

ありがとうございました。

昨年のことなのですが、皆さんどうですか。

(波津理事)

4ページの決算ですが、主食費、副食費に残高があります。その理由として、単価の高い物の提供を抑えた、デザートを提供を減らしたとありますが、その部分を減らすという理由は何かあるのでしょうか。

(森山事務局次長)

以前から、各食材が非常に値上がりしております。平成26年度に消費増税による給食費改定を行って以降、主食費・牛乳費が値上がりした分が、副食費を圧迫している状況です。献立をたてているのは栄養教諭ですが、限られた予算の中で3月まで安定的に給食を提供するために、できるだけ単価の高いものを抑える工夫をしてもらっていることによります。

(鈴木事務局長)

6万7千1百円の残になったということですが、小学生・中学生の主食の平均がだいたい75円から80円位になり、80円で計算しますと8,300食で66万4千円位になり、一日分の主食費が余ったイメージをもっていただければと思います。

(中村理事長)

波津理事よろしいですか、他にどうですか。

私のほうからよろしいですか。

今、とても大事なところが解ったのですが、4ページの決算の主食費・副食費の説明の中でデザートを提供回数を減らしたことが残につながっているとありますが、より良い給食を提供することを考えると、このあたりをこれからどうするかについて、何か説明はありますか。

(鈴木事務局長)

今、給食の食材、主食費、牛乳費、副食費がいずれも高騰していますが、江別市では平成26年度を最後に改定していません。

その中で、主食費、牛乳費は下げることができないので、それ以外で何とかしようとする、副食費の方にしわ寄せがいきますが、栄養教諭が献立をたてるにあたって文部科学省の栄養摂取基準を守りながら行っています。お子さんたちはデザートを非常に楽しみにしていますので、こちらとしても提供したいと考えているのですが、栄養摂取基準を守りながら、給食を提供するためにデザートを削っているという現状がございます。

給食センターも栄養士も、栄養摂取基準を守るだけではなく、できるだけ楽しい給食を提供したいという思いがあります。

(中村理事長)

どうでしょうか、みなさん何かありますでしょうか。

質問・質疑ないようでしたら、平成30年度江別市学校給食会計他1件の決算を承認することとしてよろしいですか。

[異議なし]

(中村理事長)

それでは異議なしということで、承認されました。

議事が終了しましたが、その他に事務局から何かありますか。

(鈴木事務局長)

事務局から、給食費の状況についてご説明させていただきます。

参考資料として配付しました「給食センターだより令和元年臨時号」をご覧ください。

こちらは、7月の初めに児童・生徒を通して配布した給食センターだよりです。

江別市の学校給食費の実情について、保護者に情報提供したものであります。

中段の「学校給食費の比較(平成26年度と令和元年度)」をご覧ください。

平成26年4月以来5年間、給食費を据え置いていること。米飯やパンなどの主食の原材料費や

加工費、牛乳価格が値上がりしているため、副食費を切り詰めながら単価を維持しているものの、すでにそれも難しくなっていることを、金額の比較を示しつつ周知いたしました。

ご覧いただいているように、副食費が小学校の中学年では10.7円、中学校では10.4円減少しています。このような中で栄養摂取基準を守りながら、献立に工夫を凝らし提供している実情です。

その上で、近年給食費の改定を行った道内他市の状況を示しました。

令和2年度以降の給食費については、改めて理事会で審議のうえ決定することになります。

3月の理事会でもご説明いたしました。これらの食材費の値上がりの中、栄養士の献立作成の工夫により、文部科学省の栄養摂取基準を守りつつ、魅力的な献立づくりに努めてきましたが、その工夫もそろそろ限界に近づきつつあります。さらに10月には消費税が10%に改定される予定で、これによる間接経費の上昇などの影響も考えられることから、令和2年度には、給食費単価の改定を検討せざるを得ないと考えております。

石狩管内他市の給食費の改定ですが、千歳市、北広島市は来年度の改定に向けて検討を行っていると考えております。

当市でも、最新の食材費の状況を精査するとともに、他市の状況を踏まえながら、来年度の給食単価の改定を検討することになります。

9月から10月ごろにかけて2回程度理事会を開催させていただき、給食費の改定を行う方向となった場合は、各種資料をご提示し、改定案をお諮りすることとなります。

その場合、あらためてご連絡させていただきますので、業務ご多忙とは存じますが、何卒よろしくお願いたします。

(中村理事長)

今のことで、何かご質問はありませんか。

(波津理事)

感想ですが、普段から私も給食をいただいているのですが、食材が高騰していたり、栄養基準をしっかり守らなければならないということで、蔭でご苦労されていることが理解できました。給食の運営というのは、これからも持続していく事が大切だと考えています。資料を見ますと他市町村ですでに値上げしているところも多くあるようです。子どもたちが楽しみにしている給食がこれからも安定して続くように、また子どもたちが成長し健康を守るためには、値上げも仕方ないものと考えます。

(中村理事長)

ありがとうございます。他にありますか。

(萬副理事長)

センターだよりの「近年値上げを行った道内の市」にある、道内の市の値上げまでの据え置き期間についてお分かりでしたら教えていただきたい。

(鈴木事務局長)

この中では、釧路市、北見市、恵庭市、苫小牧市につきましては、江別市と同じく平成26年度、この年は消費税が5%から8%に改定になったのですが、その年に改定しています。

札幌市と旭川市は翌年の平成27年度、小樽市と滝川市はその翌年の平成28年度に改定しているところがあります。

(中村理事長)

よろしいでしょうか。

(萬副理事長)

平成28年度に改定して、また平成30年度にも改定している市町村があるんですね。

(中村理事長)

給食費の改定については、次の理事会でご意見をいただいて、整理をしながら、準備していきたいと思えます。

それでは、遅れて到着した遠藤理事に委嘱状を交付します。

(遠藤理事所用のため、15:35頃到着)

これで議題がすべて終わりましたので、ここで、令和元年度第1回江別市学校給食会理事会を終了します。

本日は、どうもありがとうございました。

(15:52 散会)